

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 9 日(2023.6.9)

【公開番号】特開 2022-12684(P2022-12684A)

【公開日】令和 4 年 1 月 17 日(2022.1.17)

【年通号数】公開公報(特許)2022-007

【出願番号】特願 2020-114696(P2020-114696)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 3 1

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 1 日(2023.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外周面に複数種類の図柄が配列されている複数のリールと、
小役を含む複数種類の役の当否を決定する内部抽選を行う内部抽選手段と、
前記複数のリールを遊技毎に回転させ、停止操作を契機として、内部抽選の結果に応じた態様で回転中のリールを停止させる制御を行うリール制御手段と、
を備え、役毎に予め定められた入賞形態を示す図柄組合せが有効ライン上に表示されている場合に役が入賞し、前記小役が入賞したに基づいて遊技価値が払い出される遊技機であって、

前記小役の当選態様として、複数種類の特定小役が互いに重複せずに当選する複数種類の特定当選態様が存在し、特定当選態様の種類に応じた停止操作の態様として、正解操作態様が予め定められており、

30

前記リール制御手段が、

前記内部抽選の結果が前記特定当選態様である遊技において、停止操作が前記正解操作態様で行われた場合には、当該特定当選態様に含まれる前記特定小役を入賞可能とし、停止操作が前記正解操作態様に沿っていない場合には、当該特定当選態様に含まれる前記特定小役を入賞不可能とする制御を行い、

前記特定当選態様として、互いに含まれる前記特定小役の種類が異なるが、前記正解操作態様が同一に設定されている第 1 の特定当選態様と第 2 の特定当選態様とが存在し、

前記第 1 の特定当選態様を得た遊技と前記第 2 の特定当選態様を得た遊技とにおいて、
前記正解操作態様で行われた場合における停止制御の態様が異なるとともに、互いに類似する図柄組合せを同一の位置関係で表示することを特徴とする遊技機。

40

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記正解操作態様として、正解打順と特定タイミングとが予め定められており、

前記リール制御手段が、

前記内部抽選の結果が前記特定当選態様である遊技において、停止操作の順序が前記正解打順に沿っており、かつ前記複数のリールのうち特定リールに関する停止操作が前記特定タイミングで行われた場合には、当該特定当選態様に含まれる前記特定小役を入賞可能とし、停止操作の順序が前記正解打順に沿っていない場合と、停止操作の順序が前記正解

50

打順に沿っているが特定リールに関する停止操作が前記特定タイミングとは異なるタイミングで行われた場合とについては、当該特定当選態様に含まれる前記特定小役を入賞不可能とする制御を行い、

前記第 1 の特定当選態様を得た遊技と前記第 2 の特定当選態様を得た遊技とにおいて、前記特定リールに関する停止制御の態様を同一としつつ、前記特定リールとは異なる予め定められた少なくとも 1 のリールに関して停止制御の態様が異なることを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50